

# 踏み跡 <My Mountains>

大阪	天保山(大阪府で一番低い山)	No.317
----	----------------	--------

上方落語に登場する土地を尋ね歩く旅を計画したついでに、その中の半日を使って「日本で一番低い山」である大阪市の天保山に登って見ることにした。

平成23年5月25日  
 久しぶりに早起きをして東京発6時43分のぞみ201号に乗り込んだ。車内で朝食を摂ってのんびりしていると、真っ白な富士が目に入ってきた。ここ数日雨模様が続いているが富士山は雪だったようだ。三年ぶりの大阪の旅、車窓から富士が見えると旅の幸先が良いような気がする。  
 新大阪は快晴、暑くなりそうな気配。早朝の肌寒さに合わせた服装で出てきたので、駅のコンコースで一部着替えて大阪駅に移動。エスカレーター・地下街・雑踏……。



エスカレーターに乗った途端に後ろからオバちゃんに猛烈に体当たりされた。そうだ、エスカレーターは右側通行なのだ。またやってしまった。郷に入れば郷に従わねばと意を決しはしたものの習慣と言うものは恐ろしい。何度か過ちを繰り返しながら段々にスムーズに右側に並べるようになってきた。  
 10時、梅田阪急百貨店の開店を待ってトイレで夏の散策スタイルに着替え、大荷物はコインロッカーへ。今回の旅の最初の目標地点に向かって出発。我が人生で初めての「大阪での山登り」になる。  
 地下鉄の一日乗車券(850円)を買って御堂筋線に乗り本町へ、中央線に乗り換えて大阪港駅へ。高架の駅から町に降りるとちょうど11時。これまでとは一変した景色に目を奪われる。海に向かう道を進むと進行方向右手に大きな観覧車とバター臭いデザインの建物。東京で言えば台場を思わせるような景色に驚きながら歩いていると、自動販売機の側面に「犬かみます 注意!!」と書いた貼り紙があったり、立ち呑み屋の店の名が「乙女」だったり、バター臭さの中に大阪らしさが混じっていて退屈しない。  
 右手の緑地に入ると行く手に階段がある築山が見える。これかなと思って登って見たがこれは休憩所。さらにその先に進むとなにやら石碑か標柱のようなものが建つ築山がもうひとつ現れた。



明治天皇行幸記念碑が建つその足元に「大阪天保山山頂4.53m」の標識とそのわずか手前の敷石の間に二等三角点もある。日本で一番低い山と言われている天保山だ。  
 天保二年に洪水の防止と大阪(当時は大坂か?)港への大型船の航行を可能にするため安治川河口の浚渫が行われ、その時の浚渫土砂を積み上げたことでできた小山で、後の世には砲台が設けられたりもしたらしい。  
 私の登山は17歳の春にスタートした。振り返って見れば第一フェーズは「高き山・深き山」を目指

## 踏 み 跡 <My Mountains>

し、40歳代後半頃から始まった第二フェーズは「低い山と歩き残した山」を探し歩いてきた。そして最近、第三フェーズのテーマとして「低すぎて問題にもしなかった山」へも行ってみようかと思いはじめた。日本山名事典などのいくつかの書籍を紐解くうちに天保山の存在を知った。とは言え、大阪の超低山を目指す前にすべきことありと考えて、この旅の二週間ほど前に「東京都で一番低い山と記録されている待乳山」にも登ってみた。

登山の後で、傍らに建つ観覧車から全景を眺め直して見ることを思いつき大枚700円を投じることにした。観覧車の中のガイドアナウンスは「地上からの高さ112.5mは世界最大級」と繰り返していた。

4.53と112.5という二つの数字をならべてコメントすることは差し控えることにする。

次の目標地点である住吉大社を目指して、コスモスクエア経由でニュートラムに乗り住之江公園へ。

以上